

第 3 回協議会における主な意見のまとめ

<基本方針全体の内容について>

- ・ 30 億円必要なところを 20 億円で何とかしなければならないという現状では、節約等でなんとかなるレベルの話ではない。
- ・ 市民全員に自分自身の事として考えてもらえるように、市民にショックを与えるような敢えてマイナス的な要素もどんどん提示した方がよい。
- ・ 市民同士で議論を呼ぶような敢えて尖った案を市民の目に留まるようなトーンで作ってもよいと思う。現状の分析など議論を喚起するようなものが欲しい。
- ・ 公共施設は場所によって利用の大小があるが、その要因が分からない。
- ・ 限られた時間の中でどのくらいのスピード感をもっていくのかということが重要。
- ・ 将来、公共施設の複合化や学校の多機能化などが実現すれば施設に対する考え方も変わってくるので、公共施設のあり方が変わっていくということを計画の中に文章として盛り込めるとよい。
- ・ 将来、方針や計画を変えようとするときには、それなりのプロセスを踏む必要があるということや、これからの 10 年、20 年、このまま継続して実施していくという内容を明記する必要があるのではないか。

<基本理念（コンセプト）について>

- ・ 施設のハコの数を増やせばより良いサービスに繋がるのかということ、そうではない。数を減らしても、サービスの質を下げない、ということの基本方針の中に入れていただきたい。
- ・ 単なる行革論や財源の話から将来の話を議論するのではなく、新たな価値を作っていくことや施設に頼らないサービスのあり方、サービスレベルを低下させないということも重要。そのためのコンセプトを、基本理念の中で提唱していく形になると思う。
- ・ 公共施設の再生は、将来を含めた形でどうあるべきか考えていかなければならない。

<4 つの基本方針について>

①基本方針 1 「市民ニーズに対応し、身の丈に合った公共施設として再編します。」について

- ・ 施設を集約すれば、そこで提供される市民サービスも必ず変化が必要になる。
- ・ 市民が行政サービスに何を求めているのかということの基本方針の内容に反映できると良い。
- ・ この書きぶりでは市民ニーズがこれから小さくなっていくことを前提としていると捉えられる。人口推計を見ると、福祉にかかる重要度は大きくなっていくと思われるため、若干矛盾するようにも読める。
- ・ 公共の担う役割は、市内において最低必要となるサービスを市民が受けられるようにするためのバックアップをする部分にある。一概に切り捨てるのではなく、最低限必要なものどま

ちのポテンシャルを上げていくものなどに区分けすることも必要。

- ・ 西武線が連続立体化されると変わってくるが、東村山市は新青梅街道と府中街道で物理的に4分割されていることから、4か所くらいの大きな拠点として施設を集約し、サービスの内容を充実させ、併せて輸送手段を整えることができれば、多少遠くても自由に気楽に行き来ができて利用しやすくなり、市内を回遊してもらえる効果も生み出せるのではないかと思う。

②基本方針2「効率的・効果的な管理運営を図っていきます。」について

- ・ ボランティアを使った公共施設の運営など、市民協働を入れることも考えられないか。
- ・ 市民協働やボランティアなど「人の有効利用」や、先進事例にあるような民間活力をしていくことなどを組み込んで、東村山版の再生計画としていくのが良い。単に、総量規制で市民に考えさせようとする、市民にそっぽを向かれてしまう。
- ・ 経営感覚的にどのくらい稼げるのか、それを行政が行ってよいものか、やるべきなのか、やれるのかということなどを課題として、収益性を高めるような取組を実施し、少しでも財源を補填することができると良い。
- ・ 時間の見直しや土日も開けるなどといった、運営面での見直しや考え方を变えることも含めながら再生計画を考えてほしい。
- ・ 高齢化に対応したサービスを、民間活力などを利用して導入する必要がある。例えば、スーパーやコンビニなども広くサービスの担い手として捉えていくと良いのではないか。そのような施設再生計画に伴う新たな市民サービスの形も含めて基本方針を考えて頂きたい。

③基本方針3「安心・安全な状態を確保し、公共施設の計画的な保全を実施します。」について

- ・ 財政計画という形でなくてもよいので、財政の見通しをまとめることが必要。例えば、アクションプランの中で、当面の10年、次の10年と整理すればとっつきやすいのではないか。

④基本方針4「公共施設全体の最適化を図っていきます。」について

- ・ 基本方針1～3との差異が分かりにくい。

<アクションプランについて>

- ・ アクションプランで何をモデル事業とするかももう少し具体的に盛り込めないか。
- ・ 最終的に検討するアクションプランには、何年くらいの計画で達成していくのか、計画のフレームを入れておく必要があるのではないか。
- ・ これだけ数多くの施設を一遍に実施することは難しいので、中長期計画の中でどのような順番で実施していくのか意識すると良いと思う。
- ・ 今回のアクションプランでは、お金がないから削減する、やめるといった総量規制的な内容よりも、この協議会で知恵を出した形での公共施設の再生がどういうものなのかを示した方がよい。
- ・ アクションプランでは、民間の力を借りながら、施設を整理していくのではなくて、新しい価値を見出すようなプランをやってみて欲しい。

- ・ にぎわいを生み出したり、収益を生み出したりといった、攻めのプランがあってもよい。
- ・ 具体的なモデル事業としては、小中学校の配置の問題が考えられる。将来人口予測から子供が少なくなる学校と地域に足りない施設を合体させて利用することも考えられる。

<その他>

- ・ これまでは集客するために行政が施設を魅力的なものとする努力は必要なかったが、民間と組むとなると何をもって魅力づけをするか一つ一つの施設で問われる。地域ごとの魅力なども考えていく必要がある。
- ・ 魅力ある施設にするためには、なるべく民間ベースで手掛けて、地域商業の活性化ができるような仕掛け作りができれば良いと思う。
- ・ 公共施設にはハコモノだけではなく広場も公園もある。ハコありきではない考え方も必要。「ハコ」ばかり頭に置かずに「ヒト」を考えるべき。
- ・ お年寄りの集いを大事にし、病気にならないような社会を作ることも大事。